

「巨大左房症例に対する改良型左房縫縮術の 手術成績と有用性を検討する後ろ向き観察研究」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、承認日から 2027 年 3 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

従来から巨大左房を有する僧帽弁狭窄症や閉鎖不全症の症例においては弁形成術や弁置換術と併せて左房縫縮術が行われてきましたが、その術式は様々であり、その有用性に関しても十分な評価が行われてきたとは言い難い状況です。

近年当施設では術式に改良を加えた左房縫縮術を行っており、その手術成績とその有用性を検証することで、今後の同様の患者さんに対する治療成績を向上させることに貢献できると考えています。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2022 年 4 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日の間に、改良型の左房縫縮術を施行した患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、患者情報として、年齢、性別、重症度、背景疾患、疾患情報として心エコーデータ、CT データ、治療情報として手術時の情報、術後の入院期間を含めた情報 退院後の情報などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・長澤 淳の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（も

しくは患者さんの代理人)にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 心臓血管外科 担当者 長澤 淳
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）